

獣医師の目

【牛】宮本 翔也

## “チビチビ哺乳”で予防

### 子牛の第一胃異常発酵

新生子牛の第一胃は未発達で、ミルクを摂取すると第四胃で消化されます。子牛には食道から第四胃に通じる第二胃溝があり、これが機能することで、ミルクは第四胃に直接流れるようになっていきます。ところが、この仕組みがうまく機能せず、第一胃内にミルクがたまると、異常発酵によりルーメンアシドーシスを引き起こします。この状態をルミナルドリンカーといえます。

バケツ哺乳によるがぶ飲みが、ルミナルドリンカーの原因として教科書的には有名です。ただ、臨床現場では胃腸炎による胃運動機能の低下に伴い発酵することが多いと感じています。

対策としてオススメなのがチビチビ哺乳です。これは、1回の哺乳をできる限りゆっくりと飲ませ、自然哺乳に近い哺乳速度に合わせましょうという考えです。

実は一般的に使われる哺

乳瓶を使用しても、ミルクの第四胃への流入速度は自然哺乳の約5倍速いというデメリットがあります。乳頭口の小さい乳首を使用し、定期的に新しいものに交換することを心掛けましょう。

チビチビ哺乳はルミナルドリンカーの防止だけでなく、唾液や消化酵素の分泌を促し、消化不良の下痢を防ぐことや、誤えんによる肺炎の防止にもなります。唯一の欠点は時間がかかるということですね。

（N O S A I岡山 北部基幹家畜診療所技師）



ルミナルドリンカーにより腹囲膨満した子牛